



2020年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月8日

上場取引所 東

上場会社名 長谷川香料株式会社

コード番号 4958 URL <https://www.t-hasegawa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 海野 隆雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 中村 稔 TEL 03-3241-1151

四半期報告書提出予定日 2020年5月14日 配当支払開始予定日 2020年5月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（当社ウェブサイトにて決算説明の動画を配信予定）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第2四半期の連結業績（2019年10月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	24,462	△0.0	2,469	11.2	2,688	10.3	2,092	18.8
2019年9月期第2四半期	24,468	4.3	2,221	3.4	2,436	5.5	1,761	8.9

(注) 包括利益 2020年9月期第2四半期 1,393百万円 (317.2%) 2019年9月期第2四半期 333百万円 (△91.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	50.49	50.31
2019年9月期第2四半期	42.22	42.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第2四半期	111,315	91,024	81.6
2019年9月期	113,863	90,344	79.2

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 90,795百万円 2019年9月期 90,148百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	17.00	—	18.00	35.00
2020年9月期	—	18.00	—	—	—
2020年9月期（予想）	—	—	—	20.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,500	0.0	4,880	4.3	5,320	2.8	4,640	12.6	112.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期2Q	42,708,154株	2019年9月期	42,708,154株
② 期末自己株式数	2020年9月期2Q	1,257,319株	2019年9月期	1,257,206株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期2Q	41,450,911株	2019年9月期2Q	41,731,206株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益等の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調にあったものの、通商問題の動向や中国経済の減速等に加え、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が内外経済に与える影響が懸念され、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

香料業界は、国内市場の成熟化、同業者間での競争激化、品質保証に関する要求増加など依然として厳しい状況にありました。

このような環境の中で、当社グループは製品の品質管理と安全性の確保を第一に、研究・技術開発力の一層の向上に努め、当社独自の高品質・高付加価値製品の開発に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は24,462百万円と前年同期並みとなりました。なお、当社単体の売上高は前年同期並み（前年同期比0.2%増）、海外連結子会社の売上高は、中国子会社が前年同期比8.2%の減収（現地通貨ベースでは同3.4%の減収）、米国子会社が前年同期比10.5%の増収（現地通貨ベースでは同13.2%の増収）、マレーシア子会社が前年同期比7.8%の減収（現地通貨ベースでは同4.7%の減収）となりました。

部門別に見ますと、食品部門は、中国子会社の売上が減少したものの、当社単体及び米国子会社の売上が増加したことを主因に前年同期比0.7%増加し、20,853百万円となりました。

フレグランス部門は、当社単体及びインドネシア子会社の売上が減少したことを主因に前年同期比4.2%減少し、3,608百万円となりました。

利益につきましては、営業利益は、売上原価率の改善による売上総利益の増加、並びに販売費及び一般管理費の減少を主因に前年同期に比べ248百万円（11.2%）増加し、2,469百万円となりました。経常利益は前年同期に比べ251百万円（10.3%）増加し、2,688百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の増加、並びに固定資産売却益を特別利益に計上したことを主因に、前年同期に比べ330百万円（18.8%）増加し、2,092百万円となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。なお、セグメントごとの経営成績については、セグメント間の内部売上高等を含めて表示しております。

（日本）

売上高は18,157百万円（前年同期比0.2%増）、セグメント利益は1,879百万円（前年同期比3.9%減）となりました。

（アジア）

売上高は3,691百万円（前年同期比8.9%減）、セグメント利益は276百万円（前年同期比11.6%増）となりました。

（米国）

売上高は3,141百万円（前年同期比10.6%増）、セグメント利益は283百万円（前年同期は18百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

前連結会計年度末に比べ、有価証券が2,999百万円増加した一方で、投資有価証券の売却にかかる未収入金を主とした流動資産その他が1,709百万円、現金及び預金が315百万円、受取手形及び売掛金が1,220百万円それぞれ減少したことを主因に、流動資産は前連結会計年度末に比べ351百万円減少し、56,268百万円となりました。

(固定資産)

前連結会計年度末に比べ、償却が進行した結果、有形固定資産が785百万円、無形固定資産が164百万円それぞれ減少しました。また、投資その他の資産が、株価の下落に伴い投資有価証券が減少したことなどにより、1,247百万円減少しました。これらを主因に、固定資産は前連結会計年度末に比べ2,196百万円減少し、55,046百万円となりました。

(流動負債)

前連結会計年度末に比べ、支払手形及び買掛金が511百万円、未払法人税等が791百万円、賞与引当金が395百万円、それぞれ減少したことを主因として、流動負債は前連結会計年度末に比べ2,669百万円減少し、9,039百万円となりました。

(固定負債)

前連結会計年度末に比べ、繰延税金負債が440百万円減少したことを主因に、固定負債は前連結会計年度末に比べ558百万円減少し、11,251百万円となりました。

(純資産の部)

前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が1,346百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が869百万円減少したことを主因として、純資産合計は前連結会計年度末に比べ680百万円増加し、91,024百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月8日に公表いたしました連結業績予想につきまして、修正を行っております。具体的な内容につきましては、本日(2020年5月8日)公表いたしました「投資有価証券売却益(特別利益)の計上及び通期業績予想の修正、並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,730	15,414
受取手形及び売掛金	15,792	14,571
有価証券	7,999	10,999
商品及び製品	7,236	7,374
仕掛品	107	196
原材料及び貯蔵品	7,320	6,994
その他	2,469	759
貸倒引当金	△35	△42
流動資産合計	56,620	56,268
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,127	15,674
その他(純額)	12,690	12,356
有形固定資産合計	28,817	28,031
無形固定資産		
のれん	716	633
その他	3,461	3,379
無形固定資産合計	4,177	4,013
投資その他の資産		
投資有価証券	22,680	21,455
退職給付に係る資産	18	19
その他	1,598	1,577
貸倒引当金	△48	△51
投資その他の資産合計	24,248	23,001
固定資産合計	57,243	55,046
資産合計	113,863	111,315
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,401	4,890
1年内返済予定の長期借入金	0	—
未払法人税等	1,648	856
賞与引当金	1,296	900
役員賞与引当金	61	—
その他	3,301	2,391
流動負債合計	11,709	9,039
固定負債		
繰延税金負債	3,787	3,346
退職給付に係る負債	6,998	7,103
資産除去債務	68	69
長期未払金	887	659
その他	68	71
固定負債合計	11,809	11,251
負債合計	23,519	20,290

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,364	5,364
資本剰余金	7,297	7,297
利益剰余金	67,570	68,917
自己株式	△1,856	△1,856
株主資本合計	78,377	79,723
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,540	12,670
為替換算調整勘定	△1,459	△1,315
退職給付に係る調整累計額	△309	△283
その他の包括利益累計額合計	11,771	11,072
新株予約権	195	228
純資産合計	90,344	91,024
負債純資産合計	113,863	111,315

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
売上高	24,468	24,462
売上原価	15,202	15,114
売上総利益	9,265	9,348
販売費及び一般管理費	7,044	6,878
営業利益	2,221	2,469
営業外収益		
受取利息	39	49
受取配当金	153	147
その他	57	70
営業外収益合計	250	267
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	8	31
その他	25	15
営業外費用合計	34	48
経常利益	2,436	2,688
特別利益		
固定資産売却益	—	320
特別利益合計	—	320
特別損失		
固定資産廃棄損	14	—
特別損失合計	14	—
税金等調整前四半期純利益	2,422	3,008
法人税等	660	916
四半期純利益	1,761	2,092
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,761	2,092

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	1,761	2,092
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,200	△869
為替換算調整勘定	△252	144
退職給付に係る調整額	24	25
その他の包括利益合計	△1,427	△699
四半期包括利益	333	1,393
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	333	1,393
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(顧客との契約から生じる収益(ASC第606号)の適用)

第1四半期連結会計期間より、米国会計基準を適用する米国子会社においてASC第606号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。

当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(IFRS16号「リース」の適用)

第1四半期連結会計期間より、日本基準を採用する当社及び国内子会社、並びに米国会計基準を適用する米国子会社を除き、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、借手は原則すべてのリースについて資産及び負債を認識することといたしました。

当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(自己株式の取得)

当社は、2020年3月27日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、下記のとおり自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するとともに、資本効率の向上と株主還元の実現を図るため。

2. 取得に係る事項の内容

(1) 取得対象株式の種類：普通株式

(2) 取得し得る株式の総数：1,000,000株（上限）

(発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 2.4%）

(3) 株式の取得価額の総額：2,000,000,000円（上限）

(4) 取得期間：2020年3月30日～2020年9月30日

3. 自己株式の取得状況

取得期間	取得株式数（株）	取得価額（円）
2020年3月30日～2020年4月30日	—	—

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,743	3,946	2,777	24,468	—	24,468
セグメント間の内部売上高 又は振替高	377	106	62	546	△546	—
計	18,121	4,052	2,840	25,015	△546	24,468
セグメント利益又は損失(△)	1,955	248	△18	2,185	35	2,221

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額35百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額33百万円、たな卸資産の調整額3百万円、その他△0百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,765	3,625	3,071	24,462	—	24,462
セグメント間の内部売上高 又は振替高	391	66	69	527	△527	—
計	18,157	3,691	3,141	24,990	△527	24,462
セグメント利益	1,879	276	283	2,440	29	2,469

(注) 1. セグメント利益の調整額29百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額39百万円、たな卸資産の調整額△7百万円、その他△2百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(投資有価証券の売却)

当社は、2020年3月27日開催の取締役会において、政策保有株式の見直しのため、当社が保有する投資有価証券の一部を売却することを決議し、2020年4月15日に売却いたしました。これに伴い、2020年9月期第3四半期連結会計期間において、投資有価証券売却益867百万円を特別利益に計上いたします。